

第4回海陽町立海南病院改革検討委員会議事録

令和2年7月7日（火）

19:00～21:00

海陽町役場海南庁舎

3階大会議室

委員長： 本日の改革検討委員会では、より具体的な改革案が、示されてくると思うので、みなさん活発なご意見をよろしくお願いします。

委員長： 議題に入る前に、前海陽町副町長の島田委員に代わりまして、阿部委員が4月1日に海陽町副町長に就任されましたので、設置要綱第4条第2項の規定により、当委員会の委員に就任していただくことになりましたので、報告いたします。
阿部委員より、就任のごあいさつを頂ければと思います。

委員： 挨拶

事務局： 報告事項（1）第1回～第3回検討委員会の概要について説明。
（2）令和元年度の実績等について説明。

委員長： 平成30年度に極端に患者数が少ないが理由があるのか。

事務局： 令和元年度は常勤医師の増によりまして増えていますが、平成30年度は医師数が少ないため、患者数も少ない状況でありました。

事務局： 協議事項（1）基本方針（案）について説明。

委員長： 委員より提案がありますので、お願いします。

委員： 海南病院リバイバルプランについて説明。
結論として、医師確保が難しい現状では病院としての存続は困難。
サイズダウン&クオリティーアップ（規模縮小と高機能化）を目指すべき。

委員長： 事務局からの提案、委員からの提案、現状維持か、規模縮小か。
この2つの提案についてご意見ありませんか。

委員： これまで海南病院のタスクフォースで討議してきた。
厚労省から再編・統合に選ばれたのは、実績を伴わない救急病院であったからで、厚労省は急性期は余っているので、減らしたいからという考

えなので、海南病院は急性期から回復期に自ら移行した。

全国の病院でも近い所に同じような機能の病院がある所では、反発を起こしている。

川上地区から海南病院に行くだけで、時間がかかる。まして海部病院までいくとなるとさらに労力が必要。

収益の赤字で言えば、診療所よりも事務局が提案している、現状でいく方が良いと認識している。

住民の目からみた理想の病院は、委員の提案の診療所となった場合は医師1人、看護師も少人数、当直医師もなく、当直看護師1人の有床診療所に、入院はさせられないと考えるのでは。ある程度の規模でないと看取りもできない。

災害拠点病院でなくなったらどうでしょうか。コロナ感染症が出た場合、県から海部病院で収容できない通常の患者さんを、海南病院で受け入れて下さいとの要請があったと聞いている。縮小、縮小と言っていたら、住民の様々な要望に答えられない。

住民の目線からみたら、当面は現状が一番、医療スタッフのことを考えても、みんなで頑張ってみて、今後壁に当たった場合は、委員が提案されたことも考える。現状で頑張っていくということが、海南病院のタスクフォースでの方針である。

委員： 当直医をしているが、救急患者がいないわけではない。
先ほどの意見と同じ考えで現状がいいのではないか。

委員： 委員には、海南病院のことをいろいろ考えて頂きありがとうございます。有床診療所の機能についての、町からの提案と委員の提案では、職員数でずれがあるので、説明願いたい。

事務局： 19床である有床診療所の運営に関しては、施設基準において、病棟の看護師が7人以上で、夜勤は1名体制でも可能であるとされている。また、当直医師においても、不要との説明で見込額には入っていない。しかしながら、実際の運営面において、複数の患者の急変時の対応や看護など、当直医師不在、夜勤看護師1名体制ではリスクが高く困難であるとする。

それらも踏まえた中で、有床診療所に転換した場合においても、必要な医師数や看護師数は、一般病床と大きな変動はないと考える。

また、有床診療所に転換することにより、平成29年2月に導入した、回復期として運営する海南病院において必要不可欠である「包括ケア病床」の機能が維持できなくなること、地域の安心・安全を担う「災害拠点病院」病院の指定から外れることも危惧するところであり、この度の「新型コロナウイルス対策」における海部病院との連携におきましても、病床数は確保する必要があると考える。

委員： 病院が残るといふ安心感はあると思う。但し、これから人口が減っていくことはわかっているので、患者数も減ることを考えると現状では厳しい。海陽町でも、海部郡全体で考えても、数だけの議論をするのは危険である。

また、地域包括ケアシステムは病床が少なくてもできる。やる気の問題です。

コロナは災害であり、それを考慮すると議論ができないので、県に確認したら、コロナは置いといて議論して下さいとのことなので、コロナのことは考慮していません。

災害拠点病院は海部病院も指定をとっている、海南病院は災害支援病院でもいけると考える。災害拠点病院のために、病院を残すというのは、町の考え方もあるけど、海南病院が災害支援病院になっても、海部病院が万全な体制を取っています。

委員： 事務局案と委員案とどっちも納得できるが、事務局案は将来の人口のことがないのでは。入院患者等が増えれば、現状の人数では医療スタッフが疲弊するのではないか。委員の案では、規模が縮小するので、医療スタッフも余剰がでてくるとか。スタッフの意見はどうなのか。

委員長： 海南病院のタスクフォースで意見は取りまとめられている。

医療スタッフ個々の意見を検討するとなると、検討委員会では、難しい。

町は海陽町で救急から看取りまで、委員は、海部病院と共同で、分担してやりませんか、その方が効率がいいのではないか。

そうすることによって、海南病院の人件費率が下げることができるのではないか。人件費をそのままにして、収益を上げるといっても、人口が減ってくるのに、医療報酬が上がれば別ですけど、そうでなければ、どこかが潰れていく。

海部病院等と分担して、海南病院の経費を抑えることが、効率だと考える。

委員： 救急等に関しても、こっちは海部病院、こっちは海南病院というふうには、わけられないし、町民の目線でいくと、海部病院と重なっていても、近い海南病院で診てもらいたい。

委員長： 有床診療所であっても、救急は診れる。

委員： 海南病院だけで、考えるのではなく、広域で考えるのであれば、海部病院、美波病院、上那賀病院も含めて考えるべきではないか。その中で、海部病院が核となって考えるべき。

委員： 住民の声は、赤字はためだとか、人件費が高いとかという方もいるが、

海南病院をやめて、海部病院に任せたらいいかと聞くと、看取りをして頂きたいから、海南病院は残して欲しいという意見が多い。

病气やケガで診てもらいたいのもあるが、一番求めているのは、看取りだと思う。近くの病院で看取って欲しい。そのために、病院が残って、赤字が続いてもそれは納得するという意見もある。

委員長： 委員が言っている看取りは、病院看取りか、在宅看取りか。

委員： 病院で看取ってもらいたいと思っている。

委員長： 海陽町は在宅看取りは多いですね。

事務局： 多いです。

委員長： そうですね。在宅看取りは私もやってますし、海部病院が中心となって推進しています。在宅看取りはこれからも多くなっていくと思う。しかし、在宅看取りをやっていることを知らない住民の方は多いと思う。

委員： 地域に町立の病院が2つあるのは心強いです。将来を見据えたら、何がいいのか、検討してもらいたい。

副委員長： 委員の案は納得できる。海南病院での看取りを大事にして欲しい。遠い所で入院するよりも、経費がかかっても、近くで入院したいのがあって、入院日数の調整はできるのか。

事務局： 地域包括ケア病床の導入に伴い、一般病床での平均在院日数24日という基準はあるが、地域連携室の設置により、入退院の調整、介護施設等と連携して、看取りの病床数ははっきり言えないが、できる限り地域の病院として、海部病院とも連携して受け入れたい。

副委員長： 地域連携室を中心に連携して行って欲しい。

委員長： 海部病院とは連携するのは前提か。

委員： それは大前提です。海部病院と連携せずにはやっていけない。

委員長： 看取りを中心に考えていくという事なのですが、委員の意見も聞きながら、新たな意見も聞きながら、最終的な結論を出す前に、もう1回ぐらい検討委員会を開催し、最終的にどういった形でいくか決めたい。

事務局： 委員からの提案もありました。本日の検討委員会で、ある程度の方向性を頂きたかったのですが、できるならば次回に方向性を決めて頂けたらと思います。

委員： 1つにまとめるというよりは、最終的には政治判断になると思うが、2つの案を出して、ホームページに載せて、パブリックコメントを取り、みなさんに図ったらと思う。

事務局： 本日の検討委員会の内容については、明日町長に、明後日議会に、報告致します。有床診療所についても、さらに詳しく調査し、次回で報告させていただきます。

委員長： 有床診療所の内容については、違いがあるので、精査下さい。

委員： 有床診療所になった場合も地域包括ケア病床が確保できるかどうかも確認下さい。

委員長 診療報酬はとれない。

委員： 地域包括ケア病床と同じ内容のことは有床診療所でもできる。

委員長 次回の検討委員会では、2案を検討したい。

日程については8月11日（火）午後7時からで、場所は後日事務局より連絡させていただきます。それでは、以上で本日の会議を終了させていただきます。長時間の慎重審議、ありがとうございました。

※ 第5回検討委員会の日程は、8月11日（火）から9月15日（火）に変更になりました。